

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名	一般国道180号 <small>そうじゃ いちのみや</small> 総社・一宮バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自： <small>おかやま おかやま</small> 岡山県岡山市北区榑津 至： <small>おかやま そうじゃ いじりの</small> 岡山県総社市井尻野				延長	15.9km
事業概要						
一般国道180号は、岡山県岡山市から島根県松江市までを結ぶ延長約170kmの主要幹線道路である。 総社・一宮バイパスは、岡山県南部の中央に位置し、岡山市北区榑津と総社市井尻野を結ぶ延長15.9kmのバイパス事業である。 事業目的は、一般国道180号の岡山市北区榑津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等である。						
S48年度事業化		S63年度都市計画決定		H元年度用地着手		H元年度工事着手
全体事業費	約530億円	事業進捗率 (H29年度末見込)	47%	供用済延長	4.9km	
計画交通量	14,700 ～ 35,300台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (3便益) (事業全体) 2.5 (残事業) 5.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 273/ 554 億円 事業費：228/ 495 億円 維持管理費：45/ 59 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,387 / 1,405 億円 走行時間短縮便益：1,148/1,165億円 走行費用減少便益：160/159億円 交通事故減少便益：79/ 81億円	基準年 平成26年		
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=2.2～2.9 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.3～5.8 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.4～2.6 (事業費±10%) 事業費：B/C=4.7～5.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.3～2.8 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.7～5.5 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される。 ・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・国道180号現道を利用するバスの定時性向上が期待される。 ・総社市から岡山駅（新幹線駅）へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・総社市から岡山港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。（総社市一岡山市） ④個性ある地域の形成 ・吉備路・備中国分寺（H27観光入込客数：約51万人）、総社・宝福寺（H27年観光入込客数：約31万人）へのアクセス向上が期待される。 ⑤安全な生活環境の確保 ・死傷事故件数の削減が期待される。 ⑥災害への備え ・緊急輸送道路である国道180号が通行止めになった場合の代替路線を形成する。 ⑦地球環境の保全 ・CO ₂ 排出量の削減が期待される。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NO _x 排出量の削減が期待される。 ・SPM排出量の削減が期待される。						

関係する地方公共団体等の意見

総社・一宮バイパスの整備により、交通流動の多い総社岡山間の渋滞緩和、交通安全の確保及び沿道環境の改善が期待されており、岡山市をはじめとする関係4市の首長等で構成される一般国道180号岡山県整備促進期成会より早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

一般国道180号の交通渋滞の緩和が図られるとともに、交通事故件数の削減や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流効率化支援等にも資する重要な道路であることから、本事業の早期完成が必要である。

岡山市長の意見：

異議ありません。

一般国道180号 総社・一宮バイパスは、岡山市の外環状線の一部を構成するとともに、山陽自動車道吉備SICへのアクセス道路となり、岡山市街地の渋滞緩和や地域活性化に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。

事業評価監視委員会の意見

- ・事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
- ・審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・近年、総社市への企業進出が相次いでおり、地域の雇用が増加している。
- ・総社・一宮バイパス沿線に中四国、近畿の広範囲をカバーする中国地方最大級の物流倉庫が完成。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成30年度末で用地買収の進捗率は48%見込みである。
- ・平成30年度末で事業全体の進捗率は47%見込みである。
- ・現在までに岡山市北区門前～総社市総社までの3.4km および、岡山市北区榎津～岡山市北区一宮山崎までの1.5kmが開通。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。